

報道関係各位

日本最大級・大規模駐車場を有効活用したカーポート型メガソーラー 事業開始のお知らせ



2015年6月15日

国光施設工業株式会社
東京都大田区羽田空港 1-7-1
空港施設第二総合ビル 6階
TEL: 03-3747-7535
FAX: 03-3747-7537
<http://www.kokko-jp.com/>

国光施設工業株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：坂西 章）は100%子会社の国光エネルギーサービス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：坂西 章）を通じて、双葉電子工業株式会社（本社：千葉県茂原市、代表取締役社長：桜田 弘）が所有する長生工場（**千葉県長生郡**）の従業員用駐車場にて、日本最大級のカーポート型メガソーラー（最大出力約1.7MW）を竣工させ発電事業を開始致しました。

欧米ではメガ級のカーポート型ソーラーはありますが、既存の駐車場を利用した**1MWを超えるカーポート型メガソーラーの導入は、日本国内では例がなく日本最大級の発電所となります。**

1. カーポート型メガソーラー事業概要

発電事業者は国光施設工業の100%子会社国光エネルギーサービス株式会社となり、双葉電子工業より当該駐車場を太陽光発電事業の目的で20年間借り受ける形で実施します。また本システムは駐車場機能を損なわないため、**システム設置後も双葉電子工業は従業員用の駐車場として利用を続けますので、通常の野立て（グラウンド）の太陽光発電事業と比較し土地の有効活用となります。**

更に、太陽電池モジュールが屋根代わりとなるため、**夏の強い日差しをよける効果（車内温度の上昇を防ぎます）**もあり、事業収入以外の副次効果も期待できます。

敷地利用面積約2.6ヘクタール（駐車台数約1200台）に最大出力約1.7MWの設備を設置し、年間発電量は約170万kWh（一般家庭約470世帯分）を見込んでおります。発電した電力は、再生可能エネルギー固定価格買取制度を利用して発電全量を電力会社に売電します。

2. 今後の展開

野立てを中心とした大規模なメガソーラーの適地が減り、またFIT(固定価格買取制度)の買取価格低下、送電線の問題等もあり、**今後は電力需要地である首都圏の工場地帯や商業地帯にて、駐車場の上空を有効活用したカーポート型メガソーラーの需要が増加**すると考えております。

また、2014年12月に発表された、「東京都長期ビジョン」では再生可能エネルギーによる電力利用を20%増加させるための具体的な施策として、**駐車場上部空間を有効活用するソーラーカーポートの普及促進**が挙げられております。

今後は**FIT(固定価格買取制度)に頼らず、蓄電池を備え近接の工場やビルへ直接電力供給することも想定**しております。

国光施設工業は、本事業で協力関係のある株式会社環境経営戦略総研(本社：東京都新宿区、代表取締役社長：本多 聡介)と共にカーポート型太陽光発電システムの導入を、他の進行中案件と併せて**5MWを予定**しており、**2015年度中に10MWの導入を目標**としています。

当社は、空港や工場、病院、大型ビル等の電気設備工事業を主力としていますが、近年、公共・産業用向けメガソーラーの建設・運営・管理を行う、いわゆるEPC事業、O&M事業に注力しております。

今後も本事業において得られた知見や経験を活かし、工場の従業員駐車場や大規模商業施設駐車場の有効活用策として**カーポート型メガソーラー**を積極的に提案してまいります。

3. カーポート型メガソーラー写真



(双葉電子工業株式会社・長生工場・従業員用駐車場)

4. 会社の概要

会社名	国光施設工業株式会社
主な事業内容	空港・工場・大型ビルを対象とした電気・計装・空調工事、公共・産業向けメガソーラー発電建設・運営・管理
設立年月日	1924年11月（大正13年11月）
本店所在地	東京都大田区羽田空港1-7-1 空港施設第二綜合ビル 6階
代表者	代表取締役 社長 坂西 章
資本金の額（2012年11月現在）	85百万円
従業員数	80人

◆本件に関するお問い合わせ先

国光施設工業株式会社

企画室 服部

東京都中央区銀座1-22-12 藤和銀座一丁目ビル 7F

TEL:03-3561-8541 FAX:03-3561-5662

E-mail:k-hattori@kokko-jp.com